



潮中だより

令和4年9月26日発行 第7号
稚内市立潮見が丘中学校 (Tel:34-3315)

仁 譲 自 立

自ら学び知性をみがく生徒
心情豊かで仲間と共に伸びる生徒
心身ともにたくましく成長する生徒

『Kitara』から感じたこと…『見られている自分の姿』とは…

潮見が丘中学校 校長 齊 藤 康 輔

本校の吹奏楽部が札幌コンサートホール『Kitara』で演奏をする…これは、とても嬉しいことです。いつも全体練習をしている音楽室、パート練習をしている一般教室とは違い、**大観衆を前に『6分間の一発勝負』**をするのです。それは、ぜひ目の前で見たい。



当日、目の前のステージに並び、**凛とした姿で『全力疾奏』**(吹奏楽部通信の題名)したメンバーの表情は実に爽やかに輝いて見えました。何よりもコンサートホールの広さや観客の多さに負けることのない迫力と音色…**『聴かせ魅せる』吹奏楽の原点**を見た気がしました。本当に『全力を出した演奏』であっただけでした。凄まじい緊張感に包まれていたはず…逃げ出したいようなプレッシャーがあったはず…それを跳ね除け、**見事2年連続『銀賞受賞』を成し遂げました。**おめでとうございます。

コンクールの翌週、校長室に遊びに来てくれた吹奏楽部員に尋ねました。「もの凄く緊張したのでは？」と。すると、その生徒は『…最初にたくさんのお客さんの顔が見えて…緊張したけれど…何か開き直れました！』と言いました。**『開き直った』…**凄いですね。あの空気感に飲まれることなく「開き直る」とは驚きです。

その生徒とのやり取りを通じて、私は改めて**『見られている自分の姿』を意識すること**の大切さを考えさせられたのです。恐らく『開き直る』とは、その時に多くの聴衆に「見られている自分」に気付くことで、緊張して固まるより、**『よし！魅せてやる！』『感動させてやる！』**という**『見られていることを粹に感じる心』が一気に噴き出した**のではないのでしょうか…。それが『開き直る』という言葉になったのではないかと感じたのです。**あの『6分間』潮中吹奏楽部員全員(指揮者含む)が『見られていること』を『粹に感じた』**のでしょう。それが『心を一つにする』ということなのではないかと思わされたのです。

今回は吹奏楽部を例に書きましたが、学校では同様に『修学旅行』等の旅行的行事や『職業体験』、『合唱コンクール』などの行事を通じて『見られている自分の姿』を意識させ、『自分の今を振り返る』機会が用意されています。しかし、**このような行事だけではなく、日常生活の中においても『見られている』自覚を育てること…『自分を客観視する』ことの大切さを教えていかななくてはならないと感じています。**そのような姿勢を育てることが『自尊心』や『自己有用感』をもって社会に巣立っていくために必要であると強く感じています。

『潮中プライド』を胸に、力強く歩みを止めない…そのような姿勢を育成しなくてはならないと強く感じました。これからもよろしくお願い致します。



潮見が丘中学校の様子はホームページからも発信中。

<https://shiomigaoka-j.edumap.jp/> URLかQRコードからご覧ください！



第67回 北海道吹奏楽コンクール

吹奏楽部 銀賞 おめでとうございます！

8月26日(金)、札幌コンサートホールKitaraで「第67回 北海道吹奏楽コンクール」が開催されました。昨年に引き続いての全道大会出場。そして、昨年は「銀賞」を受賞しており、周囲からの期待も大きい中での大会参加でした。演奏曲はP. スパーク作曲「祝典のための音楽」。すでに**『潮中吹奏楽部の』**「祝典のための音楽」になってきていたようです。



出場したのは、中学校C編成の部。出場校16校の中で、見事**『銀賞』**に輝きました。今年度当初から、「全道大会出場」と「銀賞受賞」を目標に掲げ、コツコツと練習に取り組んできたことが実を結びました。大変よく頑張ったと思います。潮中の看板を背負って、全道の舞台で自分たちの演奏を多くの人に聴いてもらった。そして結果もついてきた。これからも吹奏楽部の活躍に期待します。**おめでとうございます！**

南中ソーラン 全国交流祭 in 稚内 2022

8月27日(土)、南中ソーラン全国交流祭 in 稚内2022が開催されました。令和4年度は、稚内市子ども芸能祭の枠を超え、日本のてっぺんから多くの地域に「生きる力」や「元気」を発信するとともに、明るく元気な子育ての街づくりの継続を目指すことを目的としております。



昨年度は「南中ソーランオンライン」で、稚内市内の景勝地で撮影をして実施されました。(潮見が丘中学校は、「夕日が丘パーキング」でした)。今年の参加人数は8人。学校を代表しての発表ということで少人数ではありましたが、どの学校にも負けられない気持ちのこもった演舞となりました。

さまざまな活動で、潮中の看板を背負って参加する生徒たちの姿は本当に感動を生み出しています。これからも潮中生徒たちの活躍を応援していただければと思います。

子育て平和祈念式典

◇9月1日、「第35回稚内市子育て平和の日記念式典」が行われました。会場に到着するまでは日差しがあったものの、式典が始まる頃には少し肌寒さを感じる天気となりました。
◇本校からは生徒会代表として2年生3名が参加しました。今年の潮見が丘地区ブロック決意表明は潮見が丘小学校が担当。各地区の発表をしっかりとかがみしめて聞いていました。最後に「平和祈願鐘打」が行われて式典は終了しました。

◇この日は「稚内市民が恒久平和を祈願し、子育て平和運動を一層発展させることを誓い合う」日です。ロシアがウクライナに侵攻したのが今年の2月24日。それから早、半年ほどが経過しています。今なお戦禍が収まっておりませんが、1日でも早く平和な日々が訪れることを祈るばかりです。

◇当たり前に平和があることに感謝をして、日々過ごすことが大切だと感じる1日でした。

